

日本のインパクトニーズ特定について

- ポジティブ・ネガティブインパクトの特定・評価にあたっては、我が国に特に関連が強い弱いしは弱いと考えられるインパクトニーズを考慮する必要があるのではないか。
- 参考資料2-2において、日本のインパクトニーズの特定を検討するプロセスの一例として、UNEP FI による「インパクトの発現するカテゴリ」をその土台とし、
 - 国外からの視点として、「SDGsインデックス&ダッシュボード」における日本の達成度評価
 - 国内からの視点として、日本政府による「SDGs実施指針」8分野

を用い、我が国への関連の強弱を評価した。

- 事業活動が日本国内に限定される場合、特定した日本のインパクトニーズは、ニーズの高いカテゴリを絞り込む、またはニーズが低いカテゴリの分析を簡素化する材料としての活用が考えられるのではないか。
(※日本のインパクトニーズの特定方法・詳細は今後の検討課題。)

日本のインパクトニーズ特定について

・ UNEP FIのインパクトカテゴリと日本のカントリースコアを用い、日本に特に関連が強いと考えられるカテゴリの特定を検討した。
 ・ 検討にあたっては、国外の視点として「SDGsインデックス&ダッシュボード」評価、国外の視点として日本政府の制定する「SDGs実施指針」8分野を使用し、UNEP FIのインパクトカテゴリとの内容の重複・相関により、日本におけるニーズの強弱を特定した。
 ・ この結果、
 - 「水の入手可能性」「エネルギーの入手可能性」「正義」「強固な制度・平和・安定」「経済収斂」の5カテゴリについては、我が国においては比較的インパクトニーズが弱いカテゴリ
 - 「気候」「資源効率・安全性」「生物多様性と生態系サービス」「廃棄物」「包摂的で健全な経済」「健康・衛生」の6カテゴリについては、我が国においては比較的インパクトニーズが強いカテゴリ
 と考えられるのではないかと。

UNEP FI インパクトカテゴリ		入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質(一連の固有の特徴がニーズを満たす程度)													
		水	食糧	住居	健康・衛生	教育	雇用	エネルギー	移動手段	情報	文化・伝統	人格と人の安全保障	正義	強固な制度・平和・安定	
日本のスコア		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	
SDGsインデックス&ダッシュボード評価	1. 貧困をなくそう	2													
	2. 飢餓をゼロ	3	○												
	3. すべての人に健康と福祉を	2			○										
	4. 質の高い教育をみんなに	1				○	○								
	5. ジェンダー平等を実現しよう	4					○				○				
	6. 安全な水とトイレを世界中に	2	◎		○										
	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	3						○							
	8. 働きがいも経済成長も	2				○	○					○			
	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	1						○	○	◎					
	10. 人や国の不平等をなくそう	3						○				○			
	11. 住み続けられるまちづくりを	3			◎					○	○				
	12. つくる責任 つかう責任	4					○								
	13. 気候変動に具体的な対策を	4					○								
	14. 海の豊かさを守ろう	3													
	15. 陸の豊かさを守ろう	3													
	16. 平和と公正をすべての人に	2										○	○	○	
	17. パートナーシップで目標を達成しよう	4													
日本政府「SDGs実施指針」8分野	1 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現					○	○								
	2 健康・長寿の達成	△	△		●										
	3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション			○						○					
	4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備	△	○							○					
	5 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会														
	6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全														
	7 平和と安全・安心社会の実現											○		△	
	8 SDGs 実施推進の体制と手段														

UNEP FI インパクトカテゴリ		質(物理的・化学的構成・性質)と有効利用								人と社会のための経済的価値創	
		水	大気	土壌	生物多様性と生態系サービス	資源効率・安全性	気候	廃棄物	包摂的で健全な経済	経済収斂	
日本のスコア		4	2	1	1	1	4	2	1	1	
SDGsインデックス&ダッシュボード評価	1. 貧困をなくそう	2								○	
	2. 飢餓をゼロ	3									
	3. すべての人に健康と福祉を	2	○	○							
	4. 質の高い教育をみんなに	1							○		
	5. ジェンダー平等を実現しよう	4							○		
	6. 安全な水とトイレを世界中に	2	◎			○	○				
	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	3				○	○				
	8. 働きがいも経済成長も	2							○	○	
	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	1				○	○		○	○	
	10. 人や国の不平等をなくそう	3							○	○	
	11. 住み続けられるまちづくりを	3		○			○	○	○	○	
	12. つくる責任 つかう責任	4					○	○			
	13. 気候変動に具体的な対策を	4					○				
	14. 海の豊かさを守ろう	3				○	○		○		
	15. 陸の豊かさを守ろう	3		○		○	○				
	16. 平和と公正をすべての人に	2									
	17. パートナーシップで目標を達成しよう	4								○	
日本政府「SDGs実施指針」8分野	1 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現								●		
	2 健康・長寿の達成								●		
	3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション			○						△	
	4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備	○					○				
	5 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会			○		●	●	●			
	6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全		○		●		○	○			
	7 平和と安全・安心社会の実現										
	8 SDGs 実施推進の体制と手段										

凡例：
SDGsインデックス&ダッシュボード評価
 ◎：UNEP FI分析ツールがスコア算出の指標として参照
 ○：関連
 赤は「SDGsインデックス&ダッシュボード」において日本が特に取り組みが必要と指摘されたSDGs(但し、17. パートナーシップについては投資対象とはならないため、表中は○としなかった)。
日本政府「SDGs実施指針」8分野
 ○：日本国内の事項として関連
 △：日本国外の事項として関連
 ●：「SDGs実施指針」8分野と深く特に関連

日本のインパクトニーズ特定について:参照資料

日本政府「SDGs実施指針」8分野

政府によるSDGsを推進するための主な取組一覧

- 『経済財政運営と改革の基本方針2019』(抜粋(令和元年6月21日閣議決定)):人間の安全保障の理念に基づき、SDGsの力強い担い手たる日本の姿を国際社会に示す。特に、質の高いインフラ、気候変動・エネルギー、海洋プラスチックごみ対策、保健といった分野での取組をリードする。この他、女性、防災、教育、デジタル化といった分野でも、SDGsの取組を進める。
- 『成長戦略フォローアップ』(抜粋(令和元年6月21日閣議決定)):持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた世界的な動きは、新たな事業機会をもたらす。「Society 5.0」を国際的に展開し、「日本のSDGsモデル」を、(中略)アフリカ及び東南アジアを重点地域として、国際社会に共有・展開する。

『SDGs実施指針』の8分野に関する取組を更に具体化・拡充

※記載案件の中で予算化された案件のうち、令和2年度当初予算政府案(12月20日閣議決定)及び令和元年度補正予算(12月13日閣議決定)政府案の総額は1.7兆円(内数として予算額が特定できない施策については、合計額には含まない)。
※取組の詳細は次頁以降に掲載。

<p>①あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き方改革の着実な実施 ジェンダーの主流化・女性の活躍推進 ダイバーシティ・バリアフリーの推進 子供の貧困対策 次世代の教育振興 次世代のSDGs推進プラットフォーム スポーツSDGsの推進 ビジネスと人権に関する我が国の行動計画 消費者等に関する対応 若者・子供、女性、障がい者に対する国際協力 <p>等</p>	<p>②健康・長寿の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> データヘルス改革の推進 健康経営の推進 医療拠点の輸出を通じた新興国の医療への貢献 感染症対策等医療の研究開発 ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ推進のための国際協力 アジア・アフリカにおける取組(アフリカ開発会議(TICAD)を通じたものを含む) <p>等</p>	<p>③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報通信技術・研究開発強化、人材育成 未来志向の社会づくり(「Connected Industries」・「i-Construction」推進等) STI for SDGsや、途上国のSTI・産業化に関する国際協力 地方創生や未来志向の社会づくりを支える基盤・技術・制度等 地方創生SDGsの推進 持続可能な観光の推進 農山漁村の活性化、地方等の人材育成 農林水産業・食品産業のイノベーションやスマート農林水産業の推進、成長産業化 <p>等</p>	<p>④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能で強靱なまちづくり(「コンパクト+ネットワーク」推進) 戦略的な社会資本の整備 文化資源の保護・活用と国際協力 レジリエント防災・減災の構築、災害リスクガバナンスの強化、エネルギーインフラの強靱化、食料供給の安定化 質の高いインフラの推進 環境インフラの国際展開 <p>等</p>	<p>⑤省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会</p> <ul style="list-style-type: none"> 再エネ・新エネの導入促進 徹底した省エネ・新エネの推進 エネルギー科学技術に関する研究開発の推進 気候変動対策・適応推進、災害リスク体制強化 循環型社会の構築(東京オリンピック・パラリンピックに向けた持続可能性等) 国際展開・国際協力 食品廃棄物の削減や活用 農業における環境保護 持続可能な消費の推進 <p>等</p>	<p>⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な農林水産業の推進や林業の成長産業化 世界の持続可能な森林経営の推進 地域循環共生圏の構築 生物多様性保護の国際協力 大気保全・化学物質規制対策 海洋・水産資源の持続的利用、国際的な資源管理、水産業・漁村の多面的機能の維持・促進 海洋ごみ対策(含む海洋プラスチックごみ)の推進 地球観測衛星を活用した課題解決 北極域の研究 <p>等</p>	<p>⑦平和と安全・安心社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全(性被害、虐待、事故、人権問題等への対応、児童労働の撤廃) 女性に対する暴力根絶 再犯防止対策・法務の充実 公益通報者保護制度の整備・運用 法の支配の促進に関する国際協力 平和のための能力構築に向けた国際協力を通じた積極的平和主義 人道・開発・平和の切れ目のない支援 中東和平への貢献 アフリカの平和と安定に向けた新たなアプローチ <p>等</p>	
<p>⑧SDGs実施推進の体制と手段</p> <ul style="list-style-type: none"> モニタリング(国連におけるSDG指標の測定協力、SDGグローバル指標の整備等) 広報・啓発の推進(「ジャパンSDGsアワード」の実施等) 2025年万博開催を通じたSDGsの推進 地方自治体や地方の企業の強みを活かした国際協力の推進 市民社会等との連携(NGOを通じた開発協力事業の実施等) 適切なグローバル・サプライチェーン構築 SDGs経営イニシアティブや、ESG投資の推進 途上国における国内資金動員のための税制・税務執行支援 SDGs達成のための革新的資金調達(リーディンググループ、有識者懇談会、休眠預金) 途上国のSDGs達成に貢献する企業の支援 SDGs推進円卓会議を通じたあらゆるステークホルダーとの連携(国連大学、フューチャー・アース等)等 							

出所) 日本政府SDGs推進本部「SDGsアクションプラン2020~2030年の目標達成に向けた「行動の10年」の始まり~」

日本のインパクトニーズ特定について:参照資料

SDGsインデックス & ダッシュボード

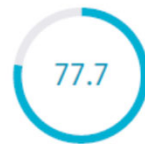
JAPAN OECD Countries

OVERALL PERFORMANCE

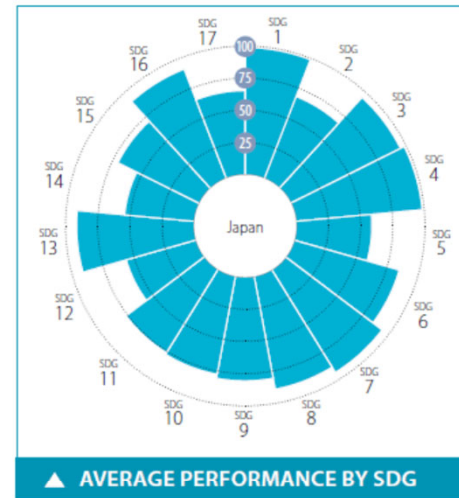
Index score



Regional average score



SDG Global rank 15 (OF 162)



SPILLOVER INDEX

100 (best) to 0 (worst)



CURRENT ASSESSMENT - SDG DASHBOARD



■ Major challenges ■ Significant challenges ■ Challenges remain ■ SDG achieved ■ Information unavailable

出所) 持続可能な開発ソリューションネットワーク・ベルテルスマン財団「Sustainable Development Report 2019」(SDGsインデックスとダッシュボード)